

メディアワールド

横浜市立小学校
情報・視聴覚教育主任様

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会員様

平成26年度 12月

一斉授業研究会

【発行】

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育部会
会長 渡邊 和也



横浜市一斉授業研究会

スキルアップ部会 学活「『かがやきの足あと』でクラスを高めていこう」

授業デザイン部会 国語「4-2 おとなになるっていうことは物語」

～未来の自分に役立てるために「4-2職業デジタルリーフレット」
を作って街中で働く人の心の火をしょうかいし合おう～

スキルアップ部会では、「タブレット端末を活用した、中学年における非対面コミュニケーションの育成」を目指して、公開授業を行いました。

授業では、児童がタブレット機器を使って毎日書き綴っている学級の振り返りの文章「かがやきのあしあと」を題材に、自分の思いを文章で多人数に対して正しく伝えるために、どのような点に留意すればよいかを考える場面でした。

研究討議で特に話題として挙げられていたのが、機器を使って活動することによって児童と教師との情報の共有化がどのように変化していくのかということでした。児童の手元にあるタブレットに教師からの教材が配信され、児童からの返信を学級で一覧するなどといった手法がどのように授業を変えていくのかという点について、様々な

意見が出されました。

今回の授業をもとに、タブレットを用いた授業形態での教師と児童、学級集団での情報共有といった手立てを、さらに集団思考、自己決定へとつなげていけるような学習展開を今後の課題として研究に取り組んでいきたいと感じました。

授業デザイン部会では、「教育メディアを活用し、コミュニケーション力を育む授業デザイン」を主題に公開授業を行いました。

授業では、4人で2台のタブレット機器を使い、作成途中のデジタル仕事リーフレットを見合い、互いに写真と文章の対応の整合性や、全体の構成について修正を行う場面でした。

研究討議では、授業のねらいを達成するための機器の活用や、コ

ミュニケーション力を高めるための手立てについて議論を行いました。タブレットならではの修正しやすいことや、扱いやすいこと、履歴を残せることなどが効果的だったという意見が出ました。一方で、アナログとデジタルの使い分けや、何をめざしたデジタルリーフレットづくりなのかをもう少し考える必要性があるという意見も出ました。タブレットを使い、良いところを効果的に、しかし過度な期待はしないで、場面に合わせて活用することが求められるという講師の先生のお話が印象的でした。



【編集】

紀要・広報委員会 武井 三也
(青葉区 鴨志田緑小学校)